

『續・禹域遊吟』 其の十七

又 また

已厭**蘚**蓆航路長

已はなはだ厭く **蘚**蓆航路の長きに

午餐喫了倚危檣

午餐喫しおは了りて 危檣に倚る

知得長江江岸近

知り得たり 長江江岸近しと

眼前**恭**色漸泥乱

眼前の**恭**色漸く泥乱

〔陽〕

○平成十六年十二月二日作

＊危檣 高い帆柱。マスト。